

●まちのできごと

東海税務連絡協議会会長賞受賞

東安中学校3年の田中夕音さんが第55回中学生の「税についての作文」で、東海税務連絡協議会会長賞を受賞しました。

税に関する作品の募集は、税について関心を持ち正しい理解を深めることを目的に毎年行われているもので、今年度は、449,837編の応募がありました。

田中さんは「一年生の時より、良い賞をいただけてうれしいです。まだ税金と関わるのが少ないけれど、大人になったら責任をもって税金を納めるようになりたいです」と受賞の喜びを語ってくれました。



▲表彰状を手にする田中さん

11/22 古代米の寄贈

牧地区古代米づくり有志の会と牧小学校から社会就労センターひかりの里へ古代米（もち米）が寄贈されました。

この古代米は、5年生の児童たちが手作業で田植え・稲刈り・足踏み式脱穀機で脱穀したものです。

代表児童の種田清花さんと渡邊心晴さんは「一生懸命つくったので、美味しく食べてもらえると嬉しいです」と話してくれました。

寄贈された古代米は、ひかりの里でクリスマス会や成人式にお赤飯として食べられる予定です。



▲頑張って収穫した古代米です

11/25 空き家バンク協定調印式

公益社団法人岐阜県宅地建物取引業協会西濃支部と「安八町空き家バンク事業の実施に関する協定」を締結しました。

この協定により空家の売買、賃貸借を希望する方との媒介について協力を得られることとなり、空家の有効活用や町への移住定住につなげていきます。

同協会の高木隆彦支部長は「最近では空家が増えてきており利活用が問題になっています。1件でも多くの空家を有効活用できるように、協力しながら取り組みたいです」と話されました。



▲岐阜県宅地建物取引業協会西濃支部の方々と堀町長

11/25 人権教室

牧こども園にて人権擁護委員の皆さんによる人権教室が行われました。

「ぞうさんのおはな」という劇で、ぞうさんのおはなが長いことをからかっていた動物たちが、自分たちもそれぞれ違うこと、違っていいんだと気付いて助けあっていくというものです。

子どもたちは、ぞうさん、おさるさんなどの動物が次々と出てくるなか、夢中になって劇を見ながら、人権についても学びました。



▲夢中で劇を見る子どもたち